

つきたい力

- ・情報を整理し、まとめる力
- ・相手に分かりやすく伝える力
- ・学んだことを活用する力

取組みの概要・ポイント

- 読書活動の活性化のために、学校図書館の環境整備や掲示の工夫、季節やイベントに関する本の展示。
- 学校図書館を活用した授業づくり。（カリキュラムの作成、ラーニング・コンパスの活用）

具体的な取組みの内容① 本に親しむ場づくり

☆移動図書館の設置

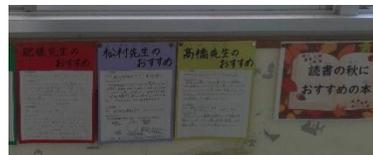
5・6年生の教室前に移動図書館を設置した。月に一度本を入れ替え、季節や行事に合った本を並べている。



☆学校図書館イベントや本の展示の工夫



クイズの答えを掲示し、関連する図書を展示。（交通安全・防災・国旗など）



様々な本に出合えるように、教職員からのおすすめの本を各学期ごとに紹介。

全児童が、読んだ本の中からみんなに紹介したい本をカードに書いて紹介。



☆学校図書館新聞による取組みの紹介

学校図書館のイベントや展示の紹介、各学年の取組みなどを毎月紹介。Teamsや学校のHPにアップし、いつでも閲覧できるようにしている。



道東小HP



具体的な取組みの内容② 学校図書館を活用した授業づくり

☆教科横断的な図書館活用

1年「はなややさいとなかよし」（生活科・図画工作科）



身の回りの花や実を使う遊びを調べる。



調べた遊びを行う。（たたき染め色遊び）

年度初めに計画を立てて実施。学期初めに学年ごとに指導案を作成し実践を積み重ねた。

☆自ら調べたくなるゴールの設定

2年「どうぶつクイズを作ろう」（国語科）

遠足（動物園）

どうぶつクイズを作ろう



学習（ビーバーの大工事）



調べ学習のまとめとして、子どもたちが意欲的に取り組めるもの（動物クイズ・乗り物図鑑など）を設定し、「調べたい」「伝えたい」と子ども自ら調べるように工夫した。

☆藤井寺市独自「主体的な学びに向けた『ラーニングコンパス』

～子どもたちの情報活用能力を育てる～の作成

情報活用能力育成のために、小学1年生から中学3年生の9年間を系統立てて授業を計画・実践するための体系表を作成。体系表をもとに、各校で単元指導実践事例を作成し担当者会で情報共有。



藤井寺市『ラーニングコンパス』

取組みを通しての子どもの変容

- ・クイズなどの図書館イベントの実施や、子どもたちが興味をもちやすい本の導入などにより、本を読むことが好きな児童が増加した。
- ・学校図書館を活用した授業を実施したことで、疑問に思ったことを自ら図書館資料等で調べる機会が増えた。
- ・おすすめの本で紹介された本に興味をもち、日頃は読まない分野の本も読むようになった。

項目	4月	7月	12月
本を読むことが好き	41%	79%	78%
わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネットなどで調べている	69%	60%	75%
学校図書館での学習や、本や資料を使って調べることは楽しい	70%	77%	71%